

1. 活動報告（事務局 記）

—7月7日（土）草刈りを臨時に招集して行いました。途中で雨も降りましたが、5名の参加でした。（西原、工藤、吉富匡、寺本、原田マ）

—7月8日（日）ビオトープ全体の草刈りは、20名と山大より応援2名で22名が行い、須賀河内川の芦刈りも含めすべて完了しました。
片づけは中電ボランティアにて行っていただく事になっております。

—7月21日（土）暑い中活動に参加された方は14名でした。

② コアアップ止水池・溜池のイグサ・カヤツリクサ・アサザの間引きを行いました

②先日刈り取った須賀河内川の芦の処分でした。8月4日の親子自然観察隊の水棲動物探検に問題なく片づけられました。

—7月23日（月）中国電力（株）宇部電力所より午前午後総勢延べ31名で、8日に刈り取った草の処理と、たんぼは除草機を使った草取りとイナゴ捕りのボランティア活動をして戴きました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

◎行 事

—8月04日（土）親子自然観察隊（川の水棲動物）

同日 フジときららネット子どもエコクラブ活動

同日 厚東中学校ボランティア活動に5名（三年生のみ）参加あり

—8月18日（土）維持活動（エコアップ、草刈り）

3. 来訪者の声

（1）—7月7日（土）

3人の子供を連れて、時々遊ばせてもらっています。草が刈ってあって、小さい子どもにはとても助かりました。維持管理ありがとうございます。大変だなと思いますがこれからはがんばってください。どうぞ宜しくお願い致します。

5歳の虫とり大好き息子にとって、ここはパラダイスだそうです。カブトムシやクワガタ（あこがれはミヤマクワガタ）はここで見れるのでしょうか？もっと林の方が良いとは思いますが、あてがなくてカブトムシの森、きが大きく育ってくれるといいな。

今日出会った生き物たち（コオイムシ、メダカ、トンボ3種、カエル、オタマジャクシ、タイコウチ、セミ、バッタ、ヤブキリ？、ショウジョウバッタ、イナゴなどなど

宇部市則貞 ムラタニ

(2) 7月23日晴れ

今日は天気が良いようなので、急に前から行ってみようと思っていたので来て見ました。子どもの頃、美祢の田舎で遊んでいた通りの景色で本当に懐かしく思いました。

今では自由に田んぼに入って遊べるところはないので本当によい施設だと思います。大事にしてほしいと思います。 宇部市 佐々木健二 76歳

※記録は7月22日と記入してありましたが 23日私自身と面と向かって記載されていまして23日と校正させていただきました。

宇部日報をみて昭和山遊ロードと男嶽に行く途中だそうで御婦人も同行されて二人で散策されるとの事でした。※事務局

4. 会員の声

今月はありません。

5. 親子自然観察隊 (7月の行事はありませんでした。)

6月の「田植えの体験」での感想

★ 大井千晴さん (大井千晶さんの母)

先日はお疲れ様でした。確かに天気は悪かったですが、あんなに雨に濡れながら、泥んこになりながら、少し寒い思いをしながら、無駄話もなく黙々と田植えをし、改めてたくさん言葉を発したわけでもないですが、親子として何か大切なもの(心)をつかめたような気がします。汚いやきつい…など、わが子と共にどんどん体験をし、生きる力を身につけてくれたら幸いです。こういった機会を与えていただき、ありがとうございました。

★ 伊原邦治さん (伊原和輝くんの祖父)

何十年ぶりに田植えを経験しました。私自身の経験、約60年前、朝早くから母親・近所のおばさんたちと腰を曲げ、田植え定規を“パタンパタン”と折り返し田植えを行いました。その頃は遊びたくてしょうがない年頃、近所の子供が遊んでいるのを横目で見、うらやましいなと思いつつ、我慢して田植えをしました。そして、その後手押しによる草取り器を“ガッシャンガッシャン”と押しイネの間に生えている草を取り、イネにつく虫取りその後農薬散布(パラチオン・ホリドール)の見学、稲刈り・脱穀・モミ干し、モミすりの手伝い等々経験しました。農家に生まれ、あまり裕福でなかったのか、ずいぶん農作業を手伝った記憶があります。

先日、孫とビオトープの親子観察隊の田植えに参加しました。副会長が作業について丁寧に説明されました。そして“お米が食べられるのは田植え作業だけではありませんよ”と言われたことが印象的でした。孫は初めての裸足での田植え、かなり興味を持って植えていましたが、しばらくすると飽きてしまい、参加していた友達と別の遊びを始めてしまいました。私の経験と比較すると相当の違いがあること感じました。でもこの

ような手作業の田植えの経験は、今時の小学生では皆無でしょうし、とても貴重な体験であったと思います。彼にとっては、美味しいおむすびを食べたことも含めて強烈な印象だったと思います。きっと何十年先、この度の経験を懐かしく思い出すことでしょう。指導していただいた皆さんより教えを受け、田植えを実施したことに改めて感謝いたします。

★ 婦木義則君

ほんとに、疲れた。途中でやめたかったけれど、最後までやりました。
田植えは大変……たくさん、お米ができてくれることを祈っています。

★ 婦木菜々子さん

ぬるぬるで、大変だった。最後までがんばりました。疲れしました。

★ 婦木貴子さん（母）

機械を使わないで田植えをするという作業、今現在、子ども・大人関係なく経験することは大変難しいことだと思っておりました。そういったことを経験することができて、大変うれしく思っております。手作業は、やはり大変ですね。子どもたちも、今まで以上にご飯(お米)を感謝して食べてくれたらいいと思う限りです。

★ 村田ひとみさん（村田紀香さんの母）

田植えでは貴重な体験ありがとうございました!! あいにくの雨でしたが、うちの子どもはカッパもせずびしょ濡れになりながらも最後までがんばりました。田植えをすることで食べ物に対する感謝の気持ちを私も感じられる1日でした。(前半、妹のほうはゴネていましたが)準備や当日の段取りなど大変だと思いますが、すべてがスムーズだったように思います。

オニギリやおつけものもおいしかったです。ありがとうございました!次回もよろしく願いいたします。

6. ビオトープ関連 (ビオトープのトンボたち) (管 哲郎 記)

(50) タカネトンボ (エゾトンボ科・エゾトンボ属) *Somatochlora uchidai*

日本特産種、日本全国で見られますが、寒冷地を好むようで北海道や東北地方、山岳地帯で多くみられるようです。しかし、伊豆大島や対馬、屋久島にも棲息しており、幅広く生息域を持っているようで、山口県内でもあちこちでよく見られます。ビオトープの須賀河内川沿いの林で見ることができます。

エゾトンボ属の特徴として、全身が金緑色をしており、木陰で休止していると黒く同化して見つけにくいですが、手に取ってみると大変光沢が美しいトンボです。植生豊かなため池や寒冷地の湿原などに棲息しますが、近頃は棲息環境が少なくなったようで本種の姿も見るのが少なくなりました。同属のハネビロエゾトンボなどは殆ど見られませんし、エゾトンボも少なくなっています。温暖化のせいでしょうか？



若いタカネトンボのオス



成熟したタカネトンボのオス



タカネトンボのメス



ハネビロエゾトンボのオス

7. 会よりの連絡事項（事務局より）

1) 新入会員の紹介

鈴木 祐麻（タスマ） 山大工学部助教授
宇部市常盤台1丁目5-18-503 86-9690 携帯あり

2) 次回の活動日は第一土曜日(8月4日)です。間違いのないよう願います。また3つの行事(親子自然観察隊活動・フジときららネット子どもエコクラブ指導活動・厚東中学校ボランティア活動フォロー)がありますのでたくさんの参加をお願いいたします。

8. 編集後記

暑い日が続いていましたが曇り空の思いの外涼しい作業日よりでした。採っても採ってもはびこってくるアサザ、スゲの除去作業中、チョウトンボが多数飛んでいました。もちろんその他のトンボ達もいました。気づかない内、日が陰り日差しが無くなっていました。一緒に作業をされていた方がトンボが全く飛んでいないのに気づかれました。曇ってくるとトンボは飛ばなくなる事をその時教えていただきました。ちょっと日がさして来ると又活動し始めました。ビックリ。何年ここに来ているのでしょうか、気がつきませんでした。

最近しばらく昭和山遊ロード二俣瀬に行っていない。近くに眺望絶佳の名山男岳がある事を知り是非登ってみたいと思っています。

（ 松本 フデ子 記 ）